

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



寒さも緩み始め、ようやく過ごし
やすい気候になってきました。

小鳥がさえずり、冬ごもりをし
ていた生き物が目覚め、桜をは

じめとする花々が咲き・・・心華やぐ季節の到来です。

今年こそはと、待ちに待ったお花見をされる人も多いことでは
ょう。 コロナ感染防止用のマスク着用義務は

解除されましたが、まだ判断に迷いますね。

春時雨、花冷えという言葉もありますので、

気温の変化に注意して、楽しい春を満喫してください。

また、春は出会いと始まりの時。

心ときめく出会いがあると嬉しいですね。どうぞ、お元気で！



快適な生活をするために（6）

前回に引き続き、皆さんに長く安全に過ごしていただく
ための住まいを長持ちさせるメンテナンスやチェック
ポイントなどをお伝えしたいと思います。

【敷地の排水】

長期間にわたり雨が降り続いたりして敷地内に水
溜まりができたり、乾かない状態が長く続いたりす
ると、当然ながら敷地には湿気が多くなってしまう
ます。

これは、健康上好ましくないばかりでなく、住宅の
劣化を早めたり、シロアリの被害の原因にもなりま
すので、スムーズに排水するようにして下さい。

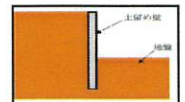


また、住宅の周りに設けられている
排水用のマスは、時々掃除して下さい。

【基礎まわり】

上下水道工事、植栽など基礎の周辺を深く掘る時
は、基礎を傷めないよう十分に注意をすることが大
事です。

また、住宅に接近して、将来大木になるような植物
を植えると、その成長に伴って根が基礎を破壊した
り、枝葉が屋根などを傷めたりしますので避けて下
さい。

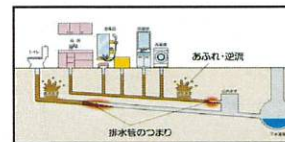


【土止め、石垣】

土止めや石垣の水抜口は、詰まらないように時々
点検して下さい。

もし、地中の排水ができないと、土止めや石垣が崩
れるなど、大きな事故の原因になることがあります
ので、注意が必要です。

また、土止めがたわんでいたり、土止めや石垣近く
が沈下している場合は、大事になる前に早めに専門
業者に相談して下さい。



次号に続く

「桃（もも）」

薔薇（バラ）科

●原産国：中国

●花期：3～5月

非常に古くから栽培されてきた果樹のひとつ。

日本には弥生時代に伝わったとされ、古事記や万葉集
にも登場しています。当初は薬や厄よけ、観賞用とさ
れていて、実を食べるようになったのは、平安時代の
末期になってからのようです。

葉はギザギザのある披針形。

果実や花木に広く栽培されていますが、観賞用に使う
品種をハナモモともいいます。

ピンクの他に白、鮮やかな紅色のものもあり、樹形も
立性・枝垂れ性・矮性があります。

◆花言葉：チャーミング、私はあなたの
とりこ、人柄の良さ とされています。





こんな人になりたい・・・

3月に学校を卒業し、この4月から社会人になる方も多くいらっしゃることでしょう。期待と不安が入り混じる中、様々な経験をされると思いますが、毎日の通勤途中こんな場面に出会うこともあるかもしれません。

そんな時、皆さんならどうしますか？

これは、ひとりの女性の体験談です。



その日、私は体調が悪い中、朝の通勤ラッシュに揉まれていました。

前日から、少し体調が思わしくなかったのですが、どうにか出勤しようと電車に乗り込んだのです。

いつものように車内はとても混雑していました。途中の駅で人波に押され、電車から一旦ホームに降りた私は、耐え切れずホームの端に座り込んでしまいました。

そこから動くこともできず、ただ蹲っていました。

私の横を、たくさんの人が慌ただしく小走りで行き交っています。

私が乗っていた電車から降りた人波は通り過ぎ、又次の電車がホームへ入ってきました。

そして又、たくさんの人の波がホームへと流れ出てきました。



私の吐き気はいつこうに収まりません。
どうしよう・・・

行き交う人たちの邪魔にならないように、と気遣いながらじっとしていると突然声を掛けられました。

「大丈夫ですか？」

顔をあげると傍らに若い女性が立っていました。力なく頷くと、その女性は心配そうに私の顔色を見て言いました。「ベンチに移動しましょうか？」そう話している間にも又、次の電車の波がやってきました。

その時です。

どうにか立ち上がろうとした私に、急ぎ足で走っていた人がぶつかってきました。

それも思いっきり・・・

私は自分の体を支えられずに、その場に倒れてしまったのです。



「危ない、大丈夫ですか！」

若い女性は驚いて大きな声をあげました。

その声で駅員さんが気づき、私たちの方へ来てくれ、二人に支えてもらいながらベンチに移動。

少し休んでいると多少気分が落ち着いてきたので、助けてくれた女性には、何度も「もう大丈夫です」と伝えましたが、しばらくの間、私の傍にいてくれました。

用事を抱えていたであろうその女性には、申し訳ないとは思いつつも、とても心強かったのです。

結局その日は欠勤する旨を会社に連絡し、帰宅することにしました。家で休んでいる内に気分も良くなりホッとしましたが、知らない駅で一人蹲っている自分を想像すると恐怖心と不安感が蘇ります。

助けてくれた女性には、後日お礼をすることができましたが、今でも感謝の気持ちは忘れていません。私も、あの女性のように困っている人がいたら助けてあげられる人でいたいと思っています。



「編集後記」

例年になく早く、桜の開花が始まりました。

まるで、コロナで閉塞感を抱えていた私たちを元気づけてくれるようで嬉しいです。

これからは、お花見だけでなく人に会う機会が増えることでしょうが、お互いにマナーを守り、こころ豊かな日々を過ごしたいと思います。

今月号もお読みいただき有難うございました。



「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

編集責任者 渡辺 田鶴子